

【From Kobe 2024 :8月】 ひまわりの夏 2024 神戸季節の便り 2024.8.6.

最近の先が見えない日本 酷暑の夏に今 思うこと 「よう知らんけどな!!」に見える無責任

ひまわりの夏 2024 Mutsu Nakanishi 2024.8.6.



太陽に顔を向けて林立するひまわりの姿に元気をもらおう

小野市ひまわりの丘で

関西も7月21日には梅雨が明け  
ひまわりの夏2024 到来

夏の太陽にまっすぐ顔を向け  
林立するひまわりの姿に元気をもらう  
酷暑が続く今年の夏 お見舞い申し上げます

お互い体調変化に気を付けて  
日々新らた 今を元気に

高齢者には厳しい夏  
どうか 無理せず 元気に 御身をお守りください  
お互い元気に前向いて ときには助けてもらいながら、  
この夏を乗り切りましょう  
God be with You!!  
2018.8 月 盛夏 Mutsu Nakanishi

度重なる災害に 被災された皆様には  
本当に厳しい夏 心配しています  
一日も早く日常の生活がとりもどけますように

夏の太陽にまっすぐ顔を向け林立するひまわりの夏 小野・佐用のひまわり畑 共に満開のニュースと共に、  
猛暑と局地的集中豪雨が猛威を振るうひまわりの夏到来 それに追い打ちをかける「熱コロナ」

兵庫では 今までを超える勢いで広がる熱コロナにもご用心

高齢者には厳しい夏ですが、体調管理・急激な天候変化にもぬかりなく、

元気に前向いて この過酷な夏を乗り切りましょう

2024.8.1. From Kobe Mutsu Nakanishi

2024年夏 夏の朝を爽やかにしてくれる朝顔 2024.7.14.

一輪一輪 違った顔を見せてくれる  
ふう～と息を吹きかけ、清々しい夏の朝を楽しむ  
まだ梅雨の明けぬ今日の朝  
本年初めて 一輪花を咲かせました



添付収録1. 新聞・ネット収集 酷暑の夏に今思うこと 最近の先が見えない日本 「よう知らんけどな!!」の無責任

添付収録2. 文珍さんの落語的見聞録 「新札、ウツカリとチャツカリ」& 「速達で届いたぬくもり」

添付収録3. 平和を考える月間 2024 広島・長崎平和宣言 全文 & 岸田総理挨拶全文



## ひまわりの夏 2024 街歩き・里歩き 点描

ひまわりの夏を迎えた神戸で 街・里歩きから 2024年夏の里景色がとれました また、久しぶり墓参りをかねた京都の街歩き話が弾む60数年前の記憶を呼び起こしてくれ、また 老いの生き方に示唆を与えてくれた小説「スピノザの診察室」にも出会えました。



日差しは暑いが心地よい山上の散歩道 2024.7.18.午後旗振り山より

中部・関東では梅雨明け 関西ではまだ梅雨が明けぬが、爽やかな風が須磨でも吹き抜け、昨夜の豪雨が嘘のような快晴に澄み渡る西神戸 大阪湾・播磨灘とも澄み渡る明石大橋の向こうに小豆島がはっきりと見える  
こんなにくっきり大阪湾・神戸の街のデジカメ写真が取れたのも久しぶり。



都市化が進む西神戸 櫛谷の田園に広がる青田がすすくと 緑かまぶしい田園を心地よい夏の風がわたりゆく 2024.7.18.



山崎断層帯の山中を佐用・千種へ伸びる県道53号切窓峠下 山崎町青木の里の「スイートコーン」の直売 目の前がトウモロコシ畑 毎年佐用のひまわり畑へ行く楽しみの一つ。当たり前外れのないおいしさ。今年も朝早く出かけて、うれしいゲット。孫たちの土産に。かつて青森岩木山麓の「嶽キミ」を送ってもらっていましたが、青木の里の「スイートコーン」はかつて何度も出かけた青森の夏を思い出も運んでくれる 2024.7.25.青木の里で



山崎断層帯切窓峠下 山崎 青木の里の「スイートコーン」 & 千種川が流れ下る古代たたら郷 佐用 林崎のひまわり畑 2024.7.25.

ひまわりの夏 2024 やっぱ古代たたら郷 佐用のひまわり畑に出会いたい でも原チャリは無理と家内の運転で早朝 佐用へ山崎断層帯の山中を佐用・千種へ伸びる県道 53 号切窓峠下 山崎町青木の里の「スイートコーン」の直売。目の前がトウモロコシ畑 当たり前外れのないおいしさで、毎年佐用のひまわり畑へ行く楽しみの一つ。

今年も朝早く出かけて、うれしいゲット。孫たちの土産に。かつて 青森岩木山麓の「嶽キミ」を送ってもらっていましたが、何度も出かけた青森の夏の思い出も運んでくれる嬉しいひまわりの夏景色です 2024.7.25.青木の里で





60 数年ぶり?の京都の街の記憶 京都の街歩きで 上賀茂終野堰堤 & また一つ覚えた京の味 北野名物 長五郎餅

そして医療現場の知識なく、老いゆく私には、ずっと心に入るフレーズ一杯。

医師でもある夏川草介さんの小説「スピノザの診療室」の本にも出会えました。

ご存じならばごめんなさい。 とうとう水が流れ落ちる60年ぶりの上賀茂終野堰堤の素晴らしい景色

何時も近くまで歩きながら堰堤には立ち寄らなかったのだろうか?? 加茂川の河川敷歩きも いつも上賀茂神社で終了になっていて、上賀茂神社境内からは観えないなあ また、今回 豪雨上がりで水量が多かったこともあるのかもしれませんが。

### 3月ぶりの更新記事 詳細はHP でご覧ください

撮りためたデジカメ Photo の羅列になってしまいましたが、3ヶ月更新の便り。

厳しい酷暑が続く夏 老いと向き合いながらも とにもかくにも元気に過ごしています。

年老いて、HP 更新に終止符を打つ前にと整理構築を始めた収蔵公開アイルも含めたスマホ・PC どちらでも共通閲覧できる閲覧ファイル造り。まだ、十分ではありませんが、一応一段落。 まだ十分ではありませんが、スマホ・PC いずれでも閲覧に耐えられる画面構成収蔵に。この3ヶ月の間にも時代が大きく動くポストコロナの時代。 この3ヶ月の資料も時代の証明。記録として収蔵したいと。

毎年の夏を飾る明るい元気なひまわり& 涼風と共に爽やかな朝を演出してくれる朝顔の姿だけでもみんなに届けたい思い。やっとう更新。

撮りためたデジカメ Photo の羅列中心の更新ファイルでの更新になりましたが、お許しください。

今回は5月更新の後の6・7月の神戸の便りほか、積み残しファイルも含め、9件の新規更新に。

### ◎ 積み残しになっていた神戸で開催された「Kobe2024 世界パラ陸上競技選手権大会 2024.5.17.」のこと

競技場の横を通るたびに準備が進むパラ陸上 補助グラウンドで走る選手たちの姿も日に日に増して…

孫たちも見学に行くと。 でも盛り上がりあんなあ…と。

「神戸で開かれる世界大会

それも毎日歩くすぐそこで… 行かないあかんやろ!!」の声に一変「行かねばならぬ」と。

フレンドリーな選手たちと競技の真剣さは他のスポーツ観戦と一緒に。メインスタンドは空席が目立つが、

バックスタンドは小学生で埋め尽くされている。

障害者スポーツの初観戦。そして小学生たちが大声援で作り出した一体感。一機に観る眼が変わりました。

ありがとう もう物おじしない爽やかな気分一杯に。

### ◎ この5月 快晴に恵まれ、大勢の人が参加した 新開地音楽祭が盛大に 2024.5.17.

もちろん もうコップ片手の street Music 巡りはできませんが、小さなライブハウス街も健在。

新しい企画も一杯 元気な新開地音楽祭への変貌途上に。

バックスタンドを埋め尽くす小学生たちの選手たちへの声援にも感動



◆ Kobe 2024 世界パラ陸上競技選手権大会 2024.5.17-25.総合運動公園 ユニバー陸上競技場 すぐ近くのユニバーで開かれた世界大会 みんなで盛りだくさんでした。5月17日観戦 動員された?バックスタンドを埋め尽くす小学生たちの声援が選手と観客 スタンド全体に巻き起こした一体感 本当に感動の瞬間でした。運動場はどう見ているのかわかりませんが、子供たちの大声援にもみんな引き込まれての 大声援。私も巻き込まれて大声援の仲間。もう決して動員などとは言えません。 パラスポーツを見る目が変わりました。競技が終わった選手たちが笑顔で手を振る姿もさわやか。ありがとうございました。

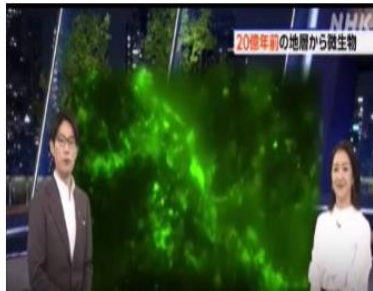




**20億年前の岩石の中で微生物が生きていた 大発見!!**

「20億年前」地球最古の微生物? 生命の起源に迫る重要な発見か この岩の中に?」 2024.7.18.

「20億年前」地球最古の微生物? 生命の起源に迫る重要な発見か この岩の中に?  
NHKのサイエンス番組で地球の生命誕生に迫る大発見を伝える  
大発見の主要メンバー 東京大学理学部の鈴木庸平准教授の語る番組を視聴しました。



どうやって岩の中で生きている?  
こうした地下の生態系を支えるメカニズムの1つに「蛇紋岩化反応」と呼ばれる岩と水との反応があります。  
この反応が起きると岩からは水素やメタンなどが生成され、それらをエリにすることで岩の中の微生物は長期間にわたって生き続けることが知られています。  
特に南アフリカの地下の岩石はこの蛇紋岩化反応が起こりやすい「かんらん石」と呼ばれる鉱物が豊富に含まれていることがわかっていました。



「地球の生命誕生」と鉄との関係を調べる手がかりを模索していたところに、20億年前の岩石の中で生きている微生物が発見されたとのビッグニュース。光合成をおこない地球の大気酸素を作り出したシアノバクテリア以前 地球表面が固体化した初め頃すでに地球に生命体が存在した可能性が出てきたというビックニュース。もうびっくりです。

びっくりして、インターネットで「生命体の起源」検索をすると色々新手法を用いた「生命体の起源」に迫る研究が急スピードで進んでいると知りました。今回の発表もその一つ。まずは「生命体の起源」と鉄との関係を調べる手がかりにと「生命体の起源」検索での資料収集。シアノバクテリアが光合成をして酸素を放出して地球大気を作ったことにも驚かされましたが、同じ微生物が、微生物がシアノバクテリアのはるか前からいたことにびっくり。しかも封じ込められ対話の中で、今まで生命を繋いできたらしいという。宇宙や生命体の起源については驚きと共に知らぬことばかり、バラバラで資料評価も分かりませんが、とりあえず、資料を収録。こんなに生命研究や宇宙そして地球が多方面からの研究で進んでいるとびっくり。3ヶ月ぶりの更新に加えました。

◎ もう一つ 忘れてはならぬ「平和なくらし」のこと

地球温暖化に伴う気象変化と激甚災害の増加が日増しに募る中、ロシアのウクライナ侵攻さらにパレスチナガザ地区へのイスラエル侵攻の激化は一般人を巻き込む激しい戦禍をもたらし、さらに中国の海洋進出 北朝鮮の核武装強化など 核戦争の脅威も身近に。そして、これらの紛争・戦禍は世界を巻き込む物価高騰と経済の混乱を招いている。

いまだやまめ戦争と戦禍 生命の危険におびやかされつつの悲惨な暮らしを見聞するたびに、心を揺さぶられる。

即刻の戦争停止と核廃絶 そして 暮らしの再構築と停滞する地球温暖化抑制への取組は世界的な緊急課題。

そんな中で高齢化と技術立国日本の地位低下が急速に進む日本ですが、課題取組が進まず、先が読めぬ日本が浮き彫りに……

島国日本の中では世界が見えにくい日本 ほんとうのところはどうかと心配が募る

世界はこぞって、若者たちがリーダーになり、新しい風が吹き始める今 いまだに身近にしか目が向かぬ老翁政治

そんな中 高齢化が猛スピードで進む中 高齢層の貧困化も急ピッチ。どうにかならぬか日本 先行き日本に気がかかる。

パリ五輪だけでなく、世界で若者たちが逆境を乗り越えて活躍する姿かこかしこ 日本も例外でない。

若者たちに日本の先行きを任せることが「平和な暮らしの第一歩」なのだろうか……

疑問符も頭をよぎるが「旧態依然の丸投げ・自らの美辞麗句に酔う政治」を吹っ切らねばと ぶつぶつ 年寄りのたわごとです。

原点復帰の源「命は宝」

忘れてはいけない8月 は「平和」と向きあう平和月間。

悲惨な戦乱・核の脅威が今世界で。

絵空事が現実になって、考える事は一つ

戦禍に苦しむ人たちに手を差しのべよう

原点復帰の源「命は宝」にまっすぐ向き合い

即刻 戦闘停止 平和な世界が取り戻せますように

God be with You !! You Rise Up Me !!

ありがとうございます 元気に今を前向いて

2024.8.1 Mutsu Nakanishi From Kobe

困難の中に居られる方々にエールを!!

日々新た 今できることを 精一杯

無理せずゆっくりと

いつも 思いをはせています。

「忘れまい 忘れないで 仲間がいる

暖かい希望の輪が繋がっていることを」

神共に居まして

変えられるものを変える「勇気」

変えられないものを

受け容れる「心の静けさ」

両者を見分ける「叡智」を

ニーバーの祈り より .





■ 最近の先が見えない日本 ひまわりの夏2024 いま思うこと From Kobe

「よう知らんけどな!!」がみえかくれの無責任 2024.8.6. Mutsu Nakanishi



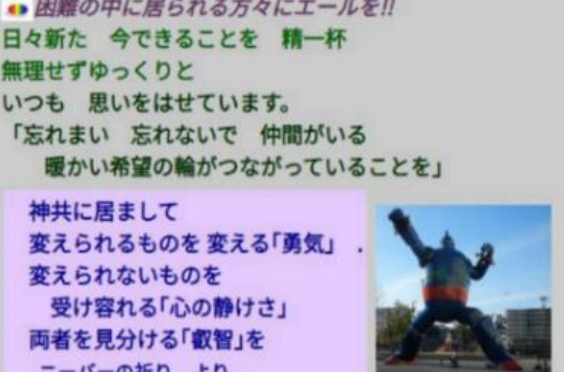
“鉄の惑星地球”に生きるわれら  
みんな地球人  
ポスト コロナの新時代  
願いは一つ  
平和で穏やかな暮らしに思いをはせて

地球人としての自覚なしには生きられぬ時代です  
「相手を思う心のやさしさ」  
今こそ人類が命を繋いでこれたルーツに思いを馳せて  
しっかりと今を今を生きねばの思いが募る

地球人としての自覚なしには生きられぬ時代です  
「相手を思う心のやさしさ」  
今こそ人類が命を繋いでこれたルーツに思いを馳せて  
しっかりと今を今を生きねばの思いが募る

第28回国連気候変動枠組条約締約国会議（COP28）開催

後戻りのできぬ地球暴走の危機がもう目前に 独りよがりではどうにもならぬ



困難の中に居られる方々にエールを!!  
日々新た 今できることを 精一杯  
無理せずゆっくりと  
いつも 思いをはせています。  
「忘れまい 忘れないうで 仲間がいる  
暖かい希望の輪がつながっていることを」

神共に居まして  
変えられるものを変える「勇気」  
変えられないものを  
受け容れる「心の静けさ」  
両者を見分ける「叡智」を  
ニーバーの折り より、

コロナが済んで、さあ前向こうという時に、先導するマスコミまでもが、物言わぬ論調に。どれもこれも素人化であることの隠れ蓑。眼に余る報道姿勢と素人化 日本先が一向にクリアーに見えぬのも無理なし。

「そんなこといやる・・・」と新聞に掲載されたその日の番組表に見る世相  
NHKニュースまでもが定時の安定性を忘れ、芸能化? 報道番組としての姿勢・役割のかけらもなしか? もっとも こっちも「よう知らんけどな・・・」と付け加えるが。  
大阪人が会話の最後によく付け足す言葉。「よう知らんけどな!!」。  
政治家が使う三人称化の「\*\*ねばならぬ。\*\*\*言わざるを得ない」と同じ使い方の元祖かもしれぬ。  
最近のマスコミ・TV そしい新聞報道までがそんな軽い調子になっていることを危惧しています。

激甚災害が頻発する時代にNHK定時ニュースまでもが芸能化をして、報道番組としての伝えるべき姿勢と役割を忘れてるように見える。アナウンサー・コメンテータ?も含め、今一度 報道とは何か!! 報道の役目は何かを見つめ直す必要があらう。今伝えねばならぬことをしっかりと伝える姿勢がほしい。  
例えば、現場の映像とその映像を見ながらの感想コメントの繰り返し。今知りたいこととのギャップの大きさ。そんなニュース番組に見られる姿が、通常番組ではもっとひどい芸能番組化。商業主義丸見えの粗雑な作り方、なんでもかんでも若い芸人を使いたがる。何時から團芸館になってんやと。。  
そして、「年寄りにはこの程度でええやろ」の丸投げ姿勢までも見える。流行と感知能力にたけた若者立が見逃すはずがない。ラジオ放送がむしろ若者たちから年寄りまで、固定した人気番組を提供しているのとは大違い。  
新聞の報道記事そしてコラムにもその影がひたひたと...。本当に署名記事も少なくなりましたね。

自民党政治の中で一番骨抜きになった情報を新聞・TVの報道が取り戻す主役となってほしいとの願い。  
一方今もはやされているインターネット通信のみに頼り切る危うさにもそのほろが数多く見えだしている。  
選挙にまで、平然とそんな影が見えだしたのもびっくり。  
保守・革新から自民党一極の仲間政治から、浮動票と言われてきた中からも常識派が駆逐され始めている。  
私の住む兵庫県でも県知事の行動にはいち早くおかしいと感じた人は多い。  
納めどころがどうなるかで見えてくる日本の先行き。  
このほろが見えている間に対策・対応をしっかりと社会で受けとめ、人一人が考える。  
それこそが見える化側の受け止め。この厳しいネット社会の時代への警鐘が幾つもみえは締めている。  
昔 今の日本の世界的位置付け・世界動向の変化は「大阪難波の地下街を歩く外国人の群衆の変化を自分飲めてじっくり観察すれば良く判る」と言ったことがあるが、それは今も。  
また、いま新聞のTV番組欄を眺めてみれば、同じことが手に取るよう。  
知りたいことが中抜きに。TVや新聞に頼る年寄りでも はっと気が付く最近のTV。  
観る者を考えぬ流しの番組の多さ。



“鉄の惑星地球”に生きるわれら  
みんな地球人  
ポスト コロナの新時代  
願いは一つ  
平和で穏やかな暮らしに思いをはせて

地球人としての自覚なしには生きられぬ時代です  
「相手を思う心のやさしさ」  
今こそ人類が命を繋いでこれたルーツに思いを馳せて  
しっかりと今を今を生きねばの思いが募る

兵庫から  
[NO WAR]

ロシアのウクライナ侵襲が續く中で  
ウクライナに思いを馳せて Stop the War !!  
ウクライナの平和への祈り

知人から送られてきた動画です  
まじいなやりの顔が泣かせる美しいウクライナの慰  
慰も忍びし涙々と涙が破壊され、多くの人の命が奪われてゆく。  
ウクライナの冬に震えています Mutsu Nakanishi

終結してほしい戦争と憎しみの連鎖

ウクライナの平和の祈り

ひまわりの夏。まあ 年寄りのたわごとです。  
今日も世界的な熱波と干ばつ 世界は株価の大暴落 世界を巻き込む戦禍と核の脅威  
そしてパリオリンピック等々 あらゆる情報が飛び交う今  
これから 日本は どう動いてゆくのか 行き先見えぬ日本  
報道のあやうさがますます増加していると感じる今、視聴者・読者も踊らぬようご用心。  
過多の情報にどっぷりつかり切り始めた若者たちへの黄信号  
この時代を生き抜く知恵多き若者たちへ「明日は我が身」の警鐘でもある。  
でも ぶつぶつぶばかりは言うまい。うれしいことも一杯のひまわりの夏  
◎ 躍動する若者たちの笑顔姿 日本各地の夏祭りや花火等々夏の風物詩の再興  
◎ 8月10日 原爆の日 指導者たちが声高で「核抑止力」を説く中で、  
◎ 「核兵器即刻停止・命は宝」を呼びかける被爆者・広島市長や国連代表  
そして多くの市民・子供たちそして 広島を訪れる世界の若者たち  
平和への叫び・祈りに耳を傾けよう

真っ青な空に太陽に顔を向け、林立する大輪のひまわり  
毎朝を清々しくしてくれる朝顔 緑の中から聞こえる蝉の声  
熱波なれど駆け抜けてゆく夕立の清々しさ等々  
嬉しいひまわりの夏2024の訪れ。  
どうか 無理せず元気に  
「熱コロナ」というそうですが、この熱波の中で コロナ再流行  
業があると簡単に言うが、持病のある人や高齢者には厳しい夏  
天候の急変・体調の変化の感度にも気配り  
God be with You!! You Raise Me Up!!  
2024.8.6. ひまわりの夏に Mutsu Nakanishi From Kobe !

添付 平和への叫び・祈りに真摯に向き合おう Mutsu Nakanishi  
「力には力を」「核兵器には、核兵器を」と核抑止を主張する「現実主義」こそ現実を見ていないとの主張。  
核廃絶は遠くに掲げる理想ではない。今、必死に取り組まなければならない、人類存続に関わる差し迫った現実の問題!  
次ページに本年の広島・長崎平和記念式典の平和宣言と岸田総理大臣挨拶を添付 どう向き合うかは人それぞれ



「核兵器即刻停止・命は宝」を呼びかける被爆者・広島や長崎両市長や多くの市民・子供たち  
そして広島を訪れる世界の若者たちの平和への叫び・祈りに真摯に向き合おう

下記本年 広島・長崎の平和記念式典「平和宣言」全文 と岸田首相挨拶 決意・訴えたいこと等 どう感じるかは人それぞれ

【広島・平和記念式典】 松井一寛広島市長『平和宣言』全文 2024.8.6.

皆さん、自国の安全保障のためには核戦力の強化が必要だという考え方をどう思われますか。

また、他国より優位に立ち続けるために繰り広げられている軍備拡大競争についてどう思いますか。

ロシアによるウクライナ侵攻の長期化やイスラエル・パレスチナ情勢の悪化により、罪もない多くの人々の命や日常生活が奪われています。

こうした世界情勢は、国家間の疑心暗鬼をますます深め、世論において、国際問題を解決するためには拒否すべき武力に頼らざるを得ないという考えが強まっていないでしょうか。

こうした状況の中で市民社会の安全・安心を保つことができますか。不可能ではないでしょうか。

平和記念資料館を通して望む原爆死没者慰霊碑、そこで祈りを捧げる人々の視線の先にある原爆ドーム、これらを南北の軸線上に配置したここ平和記念公園は、施行から今日で 75 年を迎える広島平和記念都市建設法を基に、広島市民を始めとする平和を願う多くの人々によって創られ、犠牲者を慰霊し、平和を思い、語り合い、誓い合う場となっています。

戦後、我が国が平和憲法をないがしろにし、軍備の増強に注力していたとしたら、現在の平和都市広島は実現していなかったのです。

この地に立てば、平和を愛する世界中の人々の公正と信義を信頼し、再び戦争の惨禍が起こることのないようにするという先人の決意を感じることができるはずです。

また、そうした決意の下でヒロシマの心を発信し続けた被爆者がいました。

「私たちは、いまこそ、過去の憎しみを乗り越え、人種、国境の別なく連帯し、不信を信頼へ、憎悪を和解へ、分裂を融和へと、歴史の潮流を転換させなければなりません。」これは、全身焼けただれた母親のそばで、皮膚がむけて赤身が出ている赤ん坊、内臓が破裂して地面に出ている死体…生き地獄さながらの光景を目の当たりにした当時 14 歳の男性の平和への願いです。

1989 年、民主化に向けた市民運動の高まりによって、東西冷戦の象徴だったベルリンの壁が崩壊しました。

かつてゴルバチョフ元大統領は、「われわれには平和が必要であり、軍備競争を停止し、核の恐怖を止め、核兵器を根絶し、地域紛争の政治的解決を執拗に追求する」という決意を表明し、レーガン元大統領との対話を行うことで共に冷戦を終結に導き、米ソ間の戦略兵器削減条約の締結を実現しました。このことは、為政者が断固とした決意で対話をするならば、危機的な状況を打破できることを示しています。

皆さん、混迷を極めている世界情勢をただ悲観するのではなく、こうした先人たちと同様に決意し、希望を胸に心一つにして行動を起こしましょう。そうすれば、核抑止力に依存する為政者に政策転換を促すことができるはずで、必ずできます。

争いを生み出す疑心暗鬼を消し去るために、今こそ市民社会が起すべき行動は、他者を思いやる気持ちを持って交流し対話することで「信頼の輪」を育み、日常生活の中で実感できる「安心の輪」を、国境を越えて広めていくことです。そこで重要になるのは、音楽や美術、スポーツなどを通じた交流によって他者の経験や価値観を共有し、共感し合うことです。こうした活動を通じて「平和文化」を共有できる世界を創っていきましょう。特に次代を担う若い世代の皆さんには、広島を訪れ、この地で感じたことを心に留め、幅広い年代の人たちと「友好の輪」を創り、今自分たちにできることは何かを考え、共に行動し、「希望の輪」を広げていただきたい。広島市は、世界 166 か国・地域の 8,400 を超える平和首長会議の加盟都市と共に、市民社会の行動を後押しし、平和意識の醸成に一層取り組んでいきます。

昨年度、平和記念資料館には世界中から過去最多となる約 198 万人の人が訪れました。これは、かつてないほど、被爆地広島への関心、平和への意識が高まっていることの証しとも言えます。

世界の為政者には、広島を訪れ、そうした市民社会の思いを共有していただきたい。

そして、被爆の実相を深く理解し、被爆者の「こんな思いは他の誰にもさせてはならない」という平和への願いを受け止め、核兵器廃絶へのゆるぎない決意を、この地から発信していただきたい。

NPT(核兵器不拡散条約)再検討会議が過去 2 回続けて最終文書を採択できなかったことは、各国の核兵器を巡る考え方に大きな隔たりがあるという厳しい現実を突き付けています。同条約を国際的な核軍縮・不拡散体制の礎石として重視する日本政府には、各国が立場を超えて建設的な対話を重ね、信頼関係を築くことができるよう強いリーダーシップを発揮していただきたい。

さらに、核兵器のない世界の実現に向けた現実的な取組として、まずは来年 3 月に開催される核兵器禁止条約の第 3 回締約国会議にオブザーバー参加し、一刻も早く締約国となっていただきたい。

また、平均年齢が 85 歳を超え、心身に悪影響を及ぼす放射線により、様々な苦しみを抱える多くの被爆者の苦悩に寄り添い、在外被爆者を含む被爆者支援策を充実することを強く求めます。

本日、被爆 79 周年の平和記念式典に当たり、原爆犠牲者の御霊に心から哀悼の誠を捧げるとともに、核兵器廃絶とその先にある世界恒久平和の実現に向け、改めて被爆者の懸命な努力を受け止め、被爆地長崎、そして思いを同じくする世界の人々と共に力を尽くすことを誓います。皆さん、希望を胸に、広島と共に明日の平和への一步を踏み出しましょう。

原爆を作る人々よ！ しばし手を休め 眼をとじ給え  
昭和二十年八月九日！ あなた方が作った 原爆で幾万の尊い生命が奪われ  
財産が一瞬にして無に帰し 平和な家庭が破壊しつくされたのだ  
残された者は 無から立ち上がらねばならぬ  
血みどろな生活への苦しい道と 明日をも知れぬ”原子病”の不安と  
そして肉親を失った無限の悲しみが いついつまでも尾をひいて行く

これは23歳で被爆し、原爆症と闘いながらも原爆の悲惨さを訴えた長崎の詩人・福田須磨子さんが綴った詩です。家族や友人を失った深い悲しみ、体に残された傷跡、長い年月を経ても細胞を蝕み続け、様々な病気を引き起こす放射線による影響、被爆者であるが故の差別や生活苦。原爆は被爆直後だけでなく、生涯にわたり被爆者を苦しめています。それでも被爆者は、「世界中の誰にも、二度と同じ体験をさせない」との強い決意で、苦難とともに生き抜いた自らの体験を語り続けているのです。

被爆から79年。私たち人類は、「核兵器を使ってはならない」という人道上の規範を守り抜いてきました。しかし、実際に戦場で使うことを想定した核兵器の開発や配備が進むなど、核戦力の増強は加速しています。ロシアのウクライナ侵攻に終わりが見えず、中東での武力紛争の拡大が懸念される中、これまで守られてきた重要な規範が失われるかもしれない。私たちはそんな危機的な事態に直面しているのです。

福田さんは詩の最後で、こう呼びかけました。  
原爆を作る人々よ！ 今こそ ためらうことなく 手の中にある一切を放棄するのだ  
そこに初めて 真の平和が生まれ 人間は人間として蘇ることが出来るのだ

核保有国と核の傘の下にいる国の指導者の皆さん。  
核兵器が存在するが故に、人類への脅威が一段と高まっている現実を直視し、核兵器廃絶に向け大きく舵を切るべきです。そのためにも被爆地を訪問し、被爆者の痛みと思いを一人の人間として、あなたの良心で受け止めてください。そしてどんなに険しくても、軍拡や威嚇を選ぶのではなく、対話と外交努力により平和的な解決への道を探ることを求めます。

唯一の戦争被爆国である日本の政府は、核兵器のない世界を真摯に追求する姿勢を示すべきです。そのためにも一日も早く、核兵器禁止条約に署名・批准することを求めます。そして、憲法の平和の理念を堅持するとともに、北東アジア非兵器地帯構想など、緊迫度を増すこの地域の緊張緩和と軍縮に向け、リーダーシップを発揮することを求めます。さらには、平均年齢が85歳を超えた被爆者への援護のさらなる充実と、未だ被爆者として認められていない被爆体験者の一刻も早い救済を強く要請します。

世界中の皆さん、私たちは、地球という大きな一つのまちに住む「地球市民」です。想像してください。今、世界で起こっているような紛争が激化し、核戦争が勃発するとどうなるのでしょうか。人命はもちろんのこと、地球環境にも壊滅的な打撃を与え、人類は存亡の危機に晒されてしまいます。だからこそ、核兵器廃絶は、国際社会が目指す持続可能な開発目標(SDGs)の前提ともいえる「人類が生き残るための絶対条件」なのです。

ここ長崎でも、核兵器のない世界に向けて、若い世代を中心とした長年の動きがさらに活発になっています。今年5月には、若者版ダボス会議と呼ばれる国際会議「ワン・ヤング・ワールド」の平和をテーマとした分科会が、初めて長崎で開催されました。世界の若い世代が主役となって連帯し、行動する輪が各地で広がっています。それは、持続可能な平和な未来を築くための希望の光です。

平和をつくる人々よ！ 一人ひとりには微力であっても、無力ではありません。私たち地球市民が声を上げ、力を合わせれば、今の難局を乗り越えることができる。国境や宗教、人種、性別、世代などの違いを超えて知恵を出し合い、つながり合えば、私たちは思い描く未来を実現することができる。長崎は、そう強く信じています。原子爆弾により亡くなられた方々に心から哀悼の誠を捧げます。長崎は、平和をつくる力になろうとする地球市民との連帯のもと、他者を尊重し、信頼を育み、話し合いで解決しようとする「平和の文化」を世界中に広めます。そして、長崎を最後の被爆地にするために、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向けてたゆむことなく行動し続けることをここに宣言します。

## 広島平和記念式典で、岸田総理が述べたあいさつの全文 2024.8.6.

今から七十九年前の今日、原子爆弾により、十数万ともいわれる貴い命が失われました。

街は焦土と化し、人々の夢や明るい未来が容赦なく奪われました。一命をとりとめた方々にも、筆舌に尽くし難い苦難の日々をもたらしました。

内閣総理大臣として、ここに原子爆弾の犠牲となられた方々の御霊に対し、謹んで、哀悼の誠を捧げます。

そして、今なお被爆の後遺症に苦しむ方々に対し、心からのお見舞いを申し上げます。

七十九年前の広島と長崎にもたらされた惨禍、人々の苦しみは二度と繰り返してはなりません。

被爆の実相を後代に伝えつつ、非核三原則を堅持して、「核兵器のない世界」の実現に向けて努力を着実に積み重ねていくことは、唯一の戦争被爆国である我が国の使命です。

核軍縮を巡る国際社会の分断の深まりやロシアによる核の威嚇等により、核軍縮を巡る情勢は一層厳しさを増しています。

しかし、「核兵器のない世界」への道のりがいかに厳しいものであったとしても、我々はその歩みを止める訳にはいきません。

核兵器不拡散条約(NPT)の維持・強化のため、「ヒロシマ・アクション・プラン」の下での現実的かつ実践的な取組を進め、核軍縮に向けた国際社会の機運を高めるべく、国際社会を主導してまいります。

こうした取組の一環として、昨年12月、日本政府の拠出により国連が立ち上げた「ユース非核リーダー基金」プログラムが始動しました。

今年、このプログラムを通じ、核兵器国・非核兵器国の双方の未来のリーダーが、広島及び長崎を訪問します。

我が国は、被爆者の方々の始め、「核兵器のない世界」の実現を願う人々と共に、被爆者の方々の思いや被爆の実相を次世代に継承するため、引き続き、力を尽くしていく決意です。

被爆者の方々に対しましては、保健、医療、福祉にわたる支援の必要性をしっかりと受け止め、原爆症の認定について、できる限り迅速な審査を行うなど、引き続き、高齢化が進む被爆者の方々に寄り添いながら、総合的な援護施策を推進してまいります。

結びに、永遠の平和が祈られ続けている、ここ広島市において、核兵器のない世界と恒久平和の実現に向けて力を尽くすことを改めてお誓い申し上げます。原子爆弾の犠牲となられた方々のご冥福と、ご遺族、被爆者の皆様、並びに、参列者、広島市民の皆様のご平安を祈念いたしまして、私の挨拶といたします。

## 長崎平和記念式典 岸田総理大臣のあいさつ全文 2024.8.9.

本日ここに、被爆79年目の長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典に当たり、内閣総理大臣として、犠牲となられた方々の御霊に対し、謹んで、哀悼の誠を捧げますとともに、今なお、後遺症に苦しむ方々に対し、心からのお見舞いを申し上げます。

今から79年前の今日、一発の原子爆弾により一木一草もない焦土と化したこの街が、市民の皆様の御努力によりこのように美しく復興を遂げたことに、私たちは改めて、乗り越えられない試練はないこと、そして、平和の尊さを強く感じる次第です。

長崎及び広島にもたらされた惨禍を決して繰り返してはなりません。

この信念の下、「核兵器のない世界」の実現に向け、現実的かつ実践的な取組を着実に進めることこそが唯一の戦争被爆国である我が国の使命です。そして、核軍縮を巡る国際社会の分断の深まりやロシアによる核の威嚇等、核軍縮を巡る情勢が一層厳しさを増している今だからこそ、「長崎を最後の被爆地」と世界へ強く訴え続けてまいります。

「核兵器のない世界」を実現するための道がいかに狭いものであろうとも、厳しい現実から理想への道のりを歩むため、我が国は、非核三原則を堅持しつつ、「核兵器のない世界」の実現に向けた国際社会の取組をリードしてまいります。この上で基礎となるのが、国際的な核軍縮・不拡散体制の礎石である核兵器不拡散条約=NPTです。昨年、ここ長崎では、「核兵器のない世界」に向けた国際賢人会議が開催されました。

次回NPT運用検討会議において有意義な成果を得られるよう、国際賢人会議の議論等も踏まえ、核兵器国・非核兵器国が共に取り組むことができる具体的な措置を見出す努力を続けてまいります。この点、世界が核兵器数の減少傾向が逆転しかねない瀬戸際立つ中、これを防ぐためにも、核兵器用の核分裂性物質の生産禁止条約=FMCTの推進は重要です。

本年立ち上げた、地域横断的なグループであるFMCTフレンズの枠組みに、私自身、先頭に立って主体的に関与してまいります。

これまで我が国はG7や様々な機会を捉え、世界の指導者や若者に、被爆地長崎及び広島への訪問を促し、被爆の実相に触れていただきました。

被爆の実相を世界の人々に伝え、正しく理解していただくことは、核軍縮に向けたあらゆる取組の原点として重要です。

今年は、日本政府の拠出により国連が立ち上げた「ユース非核リーダー基金」のプログラムを通じ、未来のリーダーが被爆地を訪れます。

このような取組を通じ、被爆者の方々の協力も得ながら、被爆の実相への理解を促す努力を続けてまいります。

被爆者の方々には、保健、医療、福祉にわたる支援の必要性をしっかりと受け止め、高齢化が進む被爆者の方々に寄り添いながら、今後とも、総合的な援護施策を推進してまいります。

特に、原爆症の認定について、一日も早く結果をお知らせできるよう、できる限り迅速な審査を行うよう努めてまいります。

被爆体験者の方々についても支援に努めており、昨年度も事業の拡充を行ったところです。

結びに、市民の皆様のお力添えにより、「国際文化都市」として見事に発展を遂げた、ここ長崎市において、核兵器のない世界と恒久平和の実現に向けて力を尽くすことを改めてお誓い申し上げます。

原子爆弾の犠牲となられた方々のご冥福と、ご遺族、被害者の皆様、並びに、参列者、長崎市民の皆様のご平安を祈念いたしまして、私の挨拶といたします。 令和6年8月9日 内閣総理大臣・岸田文雄



「新札、チャッカリとウツカリ」

「速達で届いたぬくもり」

文 化

文 化

このころ日本の株価がずいぶん上昇、一万、円安が進んでいる。経済オチの私にはその理屈が分からない。アメリカの長期金利がどうとか、日銀が介入したのでとか、物価は上がっているのに、給料が上がらないとの面をちまたでよく聞く。

落語的見聞録



桂文珍

海外旅行なんぞ、これだけ円安だと行くこともできない。岸田総理はナントカ会議でしょっちゅう海外へ。ああ、うらやましい

このころ日本の株価がずいぶん上昇、一万、円安が進んでいる。経済オチの私にはその理屈が分からない。アメリカの長期金利がどうとか、日銀が介入したのでとか、物価は上がっているのに、給料が上がらないとの面をちまたでよく聞く。

北里薬三郎のお三方が一万円、五千円、千円札の新札にいられた。そのうち一番初回は何でも珍らしい。昔、回覧板と間違っていたといふ。今の若い人には回覧板てなくともいいやと思いつつ、多少なりとも気になつてたが、いつも散髪で世話になつていられる理髪店、支払わつた時、「新し

新札、チャッカリとウツカリ

落語的見聞録



桂文珍

何もかも物価高で困つたもんだ。秋にははがき、封書の切手代金も値上げなさるような。メールを使う人が多くなり郵便事業も大変なのか。通信の手段がずいぶん変わり、このままでは赤字だぞ。値上げしても数年後には赤字になると、記者会見をリモートでやつておられた。その時点で「アカンやろ」と、思わずツツコミを入れてしまった。手紙やはがきのぬくもり

速達で届いたぬくもり

電子系通信手段(古い言い回し)では伝わらない。先日も家に学生時代の親友は10年前に突然黄泉の世界に旅立つたが、その一瞬、その瞬間、ナマで見るご家族から速達で手紙が来た。久しぶりだ、何かあつた。その親友の家は同程度なのかと封を切ると、息を伺っている。思惟れた会社だが年齢とともに被れ始とを、手紙で、それも速達で送つてくださったことをうれしく思った。

「ささんの奥さんから、今月16日の夕方6時5分、さん、台所、顔見知りの社員の母で、ぜひ見てほしいとの内容。その手紙が着いたのが当日だった。張つてくれた。

「ささんの奥さんから、今月16日の夕方6時5分、さん、台所、顔見知りの社員の母で、ぜひ見てほしいとの内容。その手紙が着いたのが当日だった。張つてくれた。

「ささんの奥さんから、今月16日の夕方6時5分、さん、台所、顔見知りの社員の母で、ぜひ見てほしいとの内容。その手紙が着いたのが当日だった。張つてくれた。

文珍さんの落語的見聞録 6月と7月神戸新聞に掲載の2ヶ月分の整理転記。 デジタル社会が進む中でのアナログについて。 切り捨てられゆくアナログを「見捨てたら あかん」との文珍さんのメッセージが見え隠れ???

◎ 6月の「速達で届いたぬくもり」 落語「絵手紙」に結び付けて。その落ちは「金(鐘)がないのでよう登らん」  
もう後戻りはできぬデジタル社会 高齢者もスマホ・PCでの通信に慣れないとそれこそ家籠りに……

◎ 7月の「新札、チャッカリとウツカリ」 落語は「真田小僧」つい先日 千円札と一万円札の新札を取り上げて。  
手に入れた新札を見せたくて、新札は町内ひと巡り。町内を一回りした新札の裏にはみんなハンコが押されて戻ってきたと。回覧板にハンコ 懐かしい。私の街は今も町内会はそれだ。  
落語は信州真田 真田幸村の真田の旗印は「6文銭」。その真田家でこどもに一文銭を六つ並べて説明を始めた父親 子供は話を聞くふりをして、その6文銭をかつさらって、焼き芋屋へ一目散。「うちの真田(息子・信濃)も薩摩(いも)に落ちたか……」と。  
落語「絵手紙」も「真田小僧」も聞いたことなし。一度聞いてみたいなあ……と。 2024.8.6. From Kobe Mutsu Nakanishi





## ■ 仲間からの定期便ほか



### ◎ M.Aさんからの定期便 今月の言葉

【今回は滞っていた3か月分の掲載。ニューモラ 5・6・7月より】

【5月 「してあげたい」の落とし穴  
自分勝手な思いやり

【6月 自然とのつながりを感じる  
「生かされている仲間」として

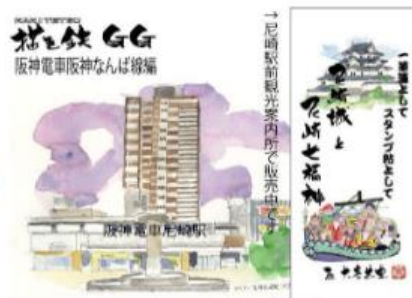
【7月 いつもすがすがしい心で  
リラックスして課題に気づこう



おりしも8月は毎年訪れる平和月間 今回のメッセージにはっと気が付く "ひよってはいられない"と。世界でそして周りで日々起っている厳しい現実「われら地球人」の言葉をかぶせて一歩一歩また一歩を踏み出したい。こんな優しい言葉で語りかける平和の願いもあるのだと。一緒に送っていただいた会誌に今も現役で講演活動等元気に活躍されている貴兄の一文。元気に活躍のご様子。なにより。仲間の元気をいただきました。8月のHPを作成しつつ 2024.8.6. Mutsu Nakanishi From Kobe

### ◎ みんなみんな ありがとう。

- ◇ 高校の同窓会が終了して、仲間のメールも滞りがち。母校の野球応援も初戦敗退で参加出来ず。みんなどうしているかなあでも 久しぶりにfacebookを開くと元気なT.Oさん相変わらず元気に日本各地を巡って絵筆を持って毎日walk 全国の鉄道沿線「描き鉄GG イラスト画」をほぼ毎日掲載 今も相変わらず、行動半径ひろいなあと楽しんでます こっちも元気になる。



### ◇ 近郊のデジカメPhotoの季節便りを送った先輩から

「コロナにも罹ったが 順調に回復中」の返信はがき。その筆跡をじっと眺めつつ 一安心。

### ◇ 秦野のT.S.さんから

熱波の眠れぬ夜は「ナンプレ」にトライしていると。私は枝雀さんや文珍産の落語を聞きながらの熟睡です

みんなみんな元気でありがとう。

この熱波の中で、神戸では熱コロナが大流行が始まっています。今まで以上という。高齢者には厳しい本年のひまわりの夏

"仲間の元気はみんなの応援歌 みんな元気で"

いつも ありがとうございます 2024.8.6. From Kobe



ひまわりの夏到来のニュースと共に、猛暑と局地的集中豪雨が猛威を振るう今年の夏  
もう 昼の暑さは尋常でない。どうか昼の外出も控え無理せず、御身お守りください。

坂道の多い我が家周辺は本当に大変。最近 数多く間引かれた坂道の並木。周辺いたるところで起こっている。

「なんで こんなに多くの樹木切って 通りは丸はだかにしてしねて、どうすんねん。」と恨み節。

高齢者の多い新興住宅地 毎日の落ち葉の整理 学童の通るバス道の危険と隣り合わせ。きく育った老木は倒壊の危険などなど。  
道脇に住む住民にとっては切り倒す理由は山ほど。でも 木陰のなくなった坂道の味気無さにこの夏の猛暑が襲いかかる。

ほかにも、メリットは色々ある。わかものが少ない新興住宅地。

答えはないのですが、この暑さ わが身にこたえて、木蔭に入るとホッとす。どうかご用心ください。

春の同窓会ラッシュが過ぎて、ほっと一息。

春過ぎて新緑・梅雨そしてひまわりの夏へ コロナからの重圧から解放されましたが、今までとは何か違う心持。

仲間の連絡も大きく減って 迫りくる老化との向き合う毎日。

今回の更新も厳しい気象変化が続く中での毎年の定点的な私的な行動記録。

デジカメにたまったPhotoアルバム。本年も懐かしい場所の記録

新たに知ったこと等々で 何かのお役になれば。

今回の記録で気に入っているのは

世界パラリンピック神戸大会観戦の小学生や元気な選手たちに直に接することができたこと。

街の変貌とともに変わりゆく新開地音楽祭のこと。

また60数年ぶりの記憶がある賀茂川柵野堰堤と北野千中の街。もう忘れかけていた記憶を呼び起こしてくれました。

医療知識のとぼしい私にとって老化と取組む医療の世界と向き合い方のフレーズがいっぱい詰まった

夏川草介さんの小説「スピノザの診療室」。清々しい京都五山麓の街歩きになりました。

そして、ひまわりの夏到来 今年も元気なひまわり & 夏の朝を爽やかにしてくれる朝顔。

夏の朝の楽しみです。

そして、ひまわりの夏到来 今年も元気なひまわり & 夏の朝を爽やかにしてくれる朝顔。

夏の朝の楽しみです。

更新の最後になりましたが、なかなか踏み込めなかった和鉄の道「命の起源」へのアプローチ

NHKの夜のニュースがおしえてくれて、インターネット巡り。

知らなかった新しい取り組みがものすごいスピードで進んでいると。

それもみんな若い学者たちの取組 パリオリンピックの若者たちを含め、若者の活躍なしには世界は動かないと。

勝手なぶつぶつ 今回の更新もまだまだ積み残し。そして整理なき更新ですが、元気に楽しんでいます。

夜長 BGMをつけた動画やPhotoを楽しんでいます。

もうひとつ 忘れてはいけない8月「平和」について向きあう平和月間。

悲惨な戦乱・核の現実が今世界で。絵空事から現実へ

「命は宝」とまっす

ぐ向き合いいちにちも平和な世界が取り戻せますように

God be with You !! You Rise Up Me !!

ありがとうございます 元気に今を前向いて

2024.8.1. Mutsu Nakanishi From Kobe

2024年ひまわりの夏 主要掲載記事のSummary 動画

今回の更新で新たに掲載したスライドスライド動画

過酷な夏を爽やかに スライド動画にして楽しんでいます

まったく非生産的なwalkですが、ほっと一息 心安めになれば

2024年夏を元気に乗り越えましょう



ひまわりの夏 2024 8月掲載記事リンクリスト

<https://www.asahi-net.or.jp/~zp4m-nkns/monthlyindexB.htm>

もう 頭回らずで 毎月更新が出来なくなりましたが、  
まだまだ好奇心あり、足も動くかってきまな風来坊  
自己中にならぬよう留意しつつ、発信させていただきます。

一日も早く、穏やかな暮らしがみんなに取りもどせますよう  
"若者たち 前向いて走りだして!!"と若者たちにエールを送る。

お互い無理せず、今を元気に  
仲間の笑顔はみんなの生きる力 応援歌

God be With You!! & You Raise Me UP!!

ありがとうございます

文珍さんの落語の笑いを熟睡の友にしています お勧め

From Kobe Mutsu Nakanishi

収録添付 1. 【ひまわりの夏 2024】【新聞・ネット収集】最近の先が見えない日本 ひまわりの夏 2024

**いま思うこと 「よう知らんけどな!!」がみえかくれの無責任**

収録添付 2. 桂文珍さんの落語的見聞録 神戸新聞 6・7 月掲載分の整理陣読記

**「新札、ウツカリとチャッカリ 7月」& 「速達で届いたためくり 6月」**

収録添付 3. 平和への叫び・祈りに真摯に向き合おう 広島・長崎の平和記念式典「平和宣言」全文 と岸田首相挨拶 全文

[和鉄の道・Iron Road 2024 Monthly ひまわりの夏 2024 top](#) ^